

令和 5 年度
第 4 次静岡市ものづくり産業振興基本計画
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

令和5年度 第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 はじめに	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 施策ごとの実施状況	3
(2) 政策ごとの実施状況	9
4 総括	10
5 各事業の実施状況管理個票	11

令和5年度 第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告します。

1 はじめに

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ、第1次基本計画を策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、第2次基本計画（平成27年度～30年度）、第3次基本計画（平成31年度～令和4年度）を経て、令和5年度から令和12年度の8か年を計画期間とした第4次基本計画（以下「本計画」という。）を策定し、施行しています。

2 基本計画の概要

本計画では、静岡市が「SDGs未来都市」や、2050年カーボンニュートラル実現に向けた「脱炭素選考地域」に選定された地域であること、また、時代の要請や国際社会の期待に応えていく視点も踏まえ、発展的な「ものづくり創造都市」の実現に向け、以下のとおり目標を定めています。

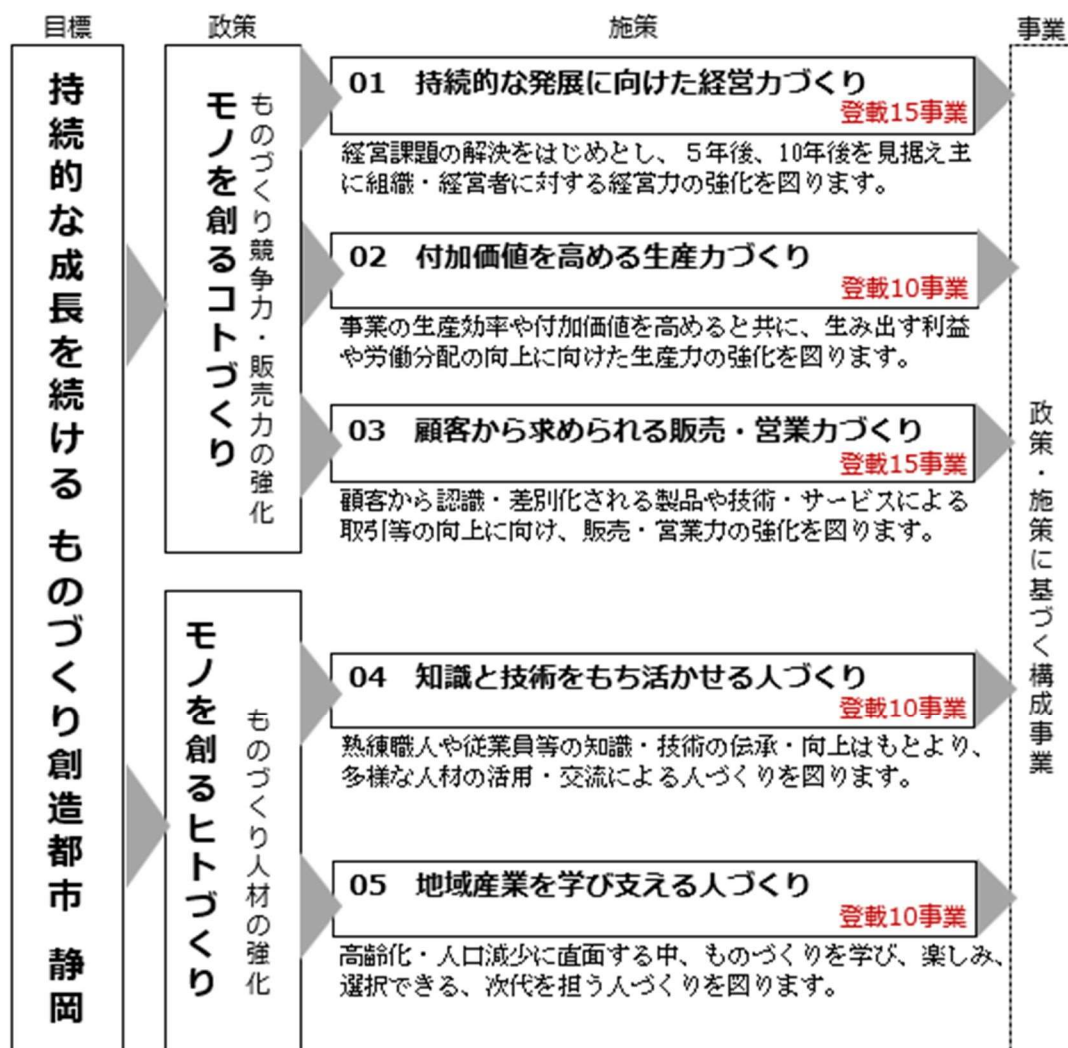
本計画の目標

持続的な成長を続ける ものづくり創造都市 静岡

本計画の策定にあたっては、目標を達成するために、2つの基本政策を定め、さらにそれら政策に基づく5つの施策を定めています。

また、本計画は、第4次静岡市総合計画及び第3次静岡市産業振興プランと連動を図りながら推進するものですが、主たる対象にとって真に必要とされる計画となるよう、現況や動向等を踏まえ、柔軟性のある見直しを図ることとしています。

計画の体系図



3 実施状況等

本計画に位置付けられた登録事業は延べ 60 事業です。また、これらのうち、本計画の最上位計画である「第 4 次総合計画」の重点政策と、時代の要請や国際社会の期待に応えていく視点に関係する事業を本計画において重点的に取り組む事業として位置付けています。

本計画の目標の達成に向けた事業を実施する担当課は、経済局商工部 3 課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）に加え、中山間地振興課、男女共同参画・人権政策課などです。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、目標を達成するための達成指標を定め、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

(1) 施策ごとの実施状況

登載事業の達成状況等については、表1のとおり事務事業総点検の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施しています。なお、達成指標を単年度評価できないものについては、「－」として区分しています。

事業評価	達成指標に対する達成状況
S	期待を上回る（105%以上）
A	期待どおり（90%以上 105%未満）
B	期待を下回る（70%以上 90%未満）
C	期待を顕著に下回る（70%未満）
－	単年度評価できないもの

表1 達成指標に対する各種事業の達成状況

次に、登載事業の達成指標に対する達成状況等を施策ごとに取りまとめ、施策別の実施状況について表2のとおり評価しています。

施策別評価	施策別実施状況の評価
◎	期待を上回る（S＋Aの割合が90%以上 100%以下）
○	期待どおり（S＋Aの割合が70%以上 90%未満）
△	期待を下回る（S＋Aの割合が50%以上 70%未満）
×	期待を顕著に下回る（S＋Aの割合が50%未満）

表2 施策別実施状況の評価

①施策 1 持続的な発展に向けた経営力づくり

施策 1 については、表 3 のとおり、達成指標を明確な数値で設定した 13 事業のうち、「S」が 5 項目、「A」が 5 項目、「B」が 2 項目、「C」が 1 項目となったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業名称			事業概要	達成指標	R5 事業結果	事業評価
01 持続的な発展に向けた経営力づくり						
1-1		中小企業融資制度による資金調達支援	融資に対する利子及び保証料の一部を助成	融資制度申込件数 1,000件(R12)	633件/年 (進捗率 63.3%)	B
1-2		ビジネスに関する相談窓口及び専門家派遣	産業支援施設での窓口相談及び専門家派遣による課題解決を図る	専門家派遣数 145件/年	143/年 (達成率 98.6%)	A
1-3		事業承継支援事業	次世代に技術やノウハウを引き継ぐため、円滑な事業承継に向けた支援の実施	支援件数 4件/年	3件/年 (達成率 75%)	B
1-4		事業継続(BCP)に係る啓発	中小企業による防災・減災の取組を促進するための啓発	啓発事業の実施	啓発事業の実施なし	C
1-5	★	IT導入に向けた生産性向上支援事業	IT導入に向けたワンストップ相談窓口を通じた生産性向上を支援	IT導入に関する相談件数 150件/年	224件/年 (達成率 149%)	S
1-6		中小企業等DX支援事業	専門家による伴走型支援を通じ、成功事例の排出による地域全体へのDX普及を促進	支援件数 5件/年	5件/年 (達成率 100%)	A
1-7	★	オープンイノベーション推進事業(コ・クリエーションスペース運営事業)	人材・技術・ナレッジ等が還流するエコシステムの確立に向けた交流・共創拠点の実証	プロジェクト創出件数 10件/年	10件/年 (達成率 100%)	A
1-8	★	スタートアップ支援事業	スタートアップが展開しやすい環境を整備し、新たなビジネスや市内発のスタートアップを創出し、地域産業の持続的な発展を図る	スタートアップ創出(支援)件数 70件(R12)	5件/年(R5) 累計:5件	A
1-9		産業財産権出願事業助成	自ら開発した技術や商品について、特許及び実用新案の出願を行う際に要する経費の助成	出願件数 12件/年	12件/年 (達成率 100%)	A
1-10	★	オープンファクトリー推進事業	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	参画がプラスとなった割合 70%(R5)	95.7% (達成率 136.7%)	S
1-11	★	ブラモデル化計画推進事業	市民等が「ブラモデルのまち」を体感し、本市のシティプロモーションとブラモデル産業のPRを推進	「模型の世界首都」への誇りを持ち、自律的にブラモデルを発信する市民の割合50%(R12)、40.7%(R5)	44.5% (達成率 109.3%)	S
1-12	★	企業立地促進事業	地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大に向けた企業の誘致及び留置を推進	企業立地件数 20件/年	21件/年 (達成率 105%)	S
1-13		企業立地用地開発推進事業	企業誘致・留置の推進及びサプライチェーンの強靱化を図る	開発候補地に対して、開発事業者の決定及び事業着手	地権者説明会の実施及び企業意向の把握	—
1-14		(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)道路整備事業	物流の効率化に向け、恩田原・片山土地区の工業団地へのアクセス整備等の実施	事業区間(L=1.5km)の4車線共用	L=0.0km	—
1-15		静岡産業支援センター「ツインメッセ静岡」管理運営事業	ツインメッセ静岡の貸館を通じた経済活動支援及び広域物資拠点等公共的機能の提供	施設利用率 40%以上/年	44.85%/年 (達成率 112.1%)	S

★マークは重点的に取りくむ事業

表 3 施策 1 達成状況

②施策2 付加価値を高める生産力づくり

施策2については、表4のとおり、達成指標を明確な数値で設定した7事業のうち、「S」が2項目、「A」が3項目、「B」が1項目となったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R5 事業結果	事業評価
02 付加価値を高める生産力づくり					
2-1	★ 中小企業事業高度化事業助成	競争力の強化や高付加価値化に向け、市内製造拠点到機械設備を導入する経費の助成	機械設備設置件数 30件/年	23件/年 (達成率 76.7%)	B
2-2	生産性向上に取り組む中小企業支援(先端設備等導入計画認定業務)	労働生産性向上を図るため、取得設備の固定資産税の負担を3年間にわたって支援	実施(必要に応じて再延長の検討)」	実施	A
2-3	DXによる「稼ぐ力」強化事業(ものづくり産業競争強化事業)	DXを通じた製造事業者の生産性向上を果たし、受注増による競争力強化を支援	DXに取り組む中小製造事業者の割合 60%(R8)	—	—
2-4	現場改善支援事業	専門アドバイザー派遣による5Sや技術力向上、製品の高付加価値化を支援	支援事業者数 15者/年	14者/年 (達成率 93.3%)	A
2-5	産学連携事業(産学共同研究委託事業)	高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で取り組む調査・研究・開発を支援	委託契約件数 6件/年	9件/年 (達成率 150%)	S
2-6	新商品開発支援事業(静岡おみやプロジェクト)	新商品開発に向けた開発から販売まで一貫したマーケティング手法の習得を支援	新商品開発数 6件/年	6件/年 (達成率 100%)	A
2-7	海洋産業クラスター創出支援事業	好循環を生み出すための産業クラスターを構築することによる海洋関連産業の育成	支援件数 6件/年	8件/年 (達成率 133.3%)	S
2-8	グリーン産業創出支援事業	脱炭素化に資する新技術や新商品の開発・実証事業等に対する経費の助成	事業活用件数 計20件以上(R8)	—	—
2-9	中小企業者省エネルギー設備導入事業助成	CO2削減の意識醸成を図り、省エネルギー化に向け、省エネルギー設備の導入経費を助成	CO2排出量50%以上削減(R12)	— ※R5年度で終了	—
2-10	★ オクシズ漆の里構想事業	ウルシを育て、漆を製品化し、地場産業等で活用する「漆の地産地消」体制の構築	ウルシ植樹面積8ha(R8)	3.49ha(R5)	—

表4 施策2 達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

③施策3 顧客から求められる販売・営業力づくり

施策3については、表5のとおり、達成指標を明確な数値で設定した15事業のうち、「S」が6項目、「A」が5項目、「B」が2項目、「C」が2項目であったことから、施策別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

		事業名称	事業概要	達成指標	R5 事業結果	事業評価
03 顧客から求められる販売・営業力づくり						
3-1	★	持続的発展に向けた競争力強化事業助成	付加価値を高める競争力・販売力の強化に向け、販路開拓と新商品開発に係る経費を助成	事業活用件数 33件/年	40件/年 (達成率 121.2%)	S
3-2		大規模展示会共同出展事業	国内最大の展示会への共同出展による中小製造事業者の競争力の強化を支援	商談に進んだ割合11%/年	3.05% (達成率 27.73%)	C
3-3		首都圏販路拡大支援事業	テストマーケティングを通じた商品開発、商談会による商品開発力や商談力の向上を支援	商談件数 600件/年	476件/年 (達成率 79.3%)	B
3-4		中小企業の海外展開に対する支援	海外展開に向けたテストマーケティングや商談会、営業代行等の支援の実施	商談件数 36件以上/年	33件/年 (達成率 91.6%)	A
3-5		日本貿易振興機構静岡貿易情報センター事業助成	静岡貿易情報センターへの助成によるスケールメリットを生かした海外展開等を支援	セミナー開催回数 6件/年	5件/年 (達成率 83.3%)	B
3-6		伝統工芸等ものづくり事業者支援事業	商品開発、各種プロモーション、販路開拓までをプロデューサー指導のもと各種支援の実施	展示会等出展 1回/年	1回/年 (達成率 100%)	A
3-7		ニューウェーブしずおか創造事業助成(地場産業支援事業)	商品開発と販路開拓を行う「ニューウェーブしずおか創造事業」の実施経費の助成	商品開発点数 延べ30点(R12)	20点/年 累計 20点 (進捗率 66.7%)	A
3-8	★	特産品展示コーナー(駿府菜市)運営事業	地場産品の愛用促進と販路開拓に向け、駿府菜市「特産品展示コーナー」での企画展示	工芸品の年間売上金額 31,600千円/年	46,092千円 (達成率 145.9%)	S
3-9		産業フェアしずおか開催事業助成	地元産品のPRと愛用促進による伝統工芸の振興を図るため、フェア開催経費を助成	来場者数 80,000人/年	34,300人/年 (達成率 42.9%)	C
3-10		伝統工芸品産業育成・振興事業(しずおか特産品まつり)	市民に宣伝・PRし、業界の育成・振興を図るため、しずおか特産品まつりの開催	来場者数(春・秋) 6,900人/年	18,500人/年 (達成率 268.1%)	S
3-11		ホビーのまち静岡推進事業	市のブランドイメージと求心力の向上に向け、ホビー推進協議会静岡の事業に対する助成	ホビーのまち静岡の認知度(R12: 35%、R5:28%)	31% (達成率 110.7%)	S
3-12		ホビー産業育成支援事業	市の求心力の向上に向け、イベント、展示、パンフレット等によるホビー産業の情報発信	ホビーのまち静岡の認知度(R12: 35%、R5:28%)	31% (達成率 110.7%)	S
3-13		プラモデル化計画推進事業	模型業界と地元企業等のパートナーシップ構築を目的としたコラボイベント・サービスの創出	「模型の世界首都」への誇りを持ち、自律的にプラモデルを発信する市民の割合50%(R12)、40.7%(R5)	44.5% (達成率 109.3%)	S
3-14		地域産業振興ブランド認証事業	市民が選ぶ「しずおか葵プレミアムAWARD」の認証・PRによるシティブロモーションの推進	ブランド認知度 55%	51% (達成率:92.7%)	A
3-15		女性活躍ブランド認定事業	女性活躍ブランドの認定によるモチベーションアップや取組波及等、女性の活躍を推進	ブランド商品認定数 5件/年	5件 (達成率:100%) ※新規認定はR5年度で終了。	A

★マークは重点的に取り組む事業

表5 施策3 達成状況

④施策 4 知識と技術をもち活かせる人づくり

施策 4 については、表 6 のとおり、数値目標を明確な数値で設定した 8 事業のうち、「S」が 1 項目、「A」が 3 項目、「B」が 2 項目、「C」が 2 項目であったことから、施策別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R5 事業結果	事業評価
04 知識と技術をもち活かせる人づくり					
4-1	★ 地場産業後継者育成事業（クラフトマンサポート事業）	「クラフトマンサポート事業」として地場産業界の後継者の確保、若手職人の育成・定着を支援	新規制度利用者数（長期支援・雇用奨励） 5人/年	5人/年（R5） （達成率 100%）	A
4-2	伝統工芸技術アーカイブス事業	伝統工芸技術で存続の危機にある技法を映像化等によりアーカイブし保存、継承を図る	映像化本数 2本/年	1本/年 （達成率 50%）	C
4-3	地場産業支援事業助成（伝統工芸技術保存講習会）	業界の若手後継者に対する「伝統工芸技術保存講習会」の実施に係る経費の助成	講習会参加者数 延べ36人/年	35人/年（R5） （達成率 97.2%）	A
4-4	★ 産学官連携による「人材力」強化事業（ものづくり産業競争力強化事業）	産学官連携による人材育成を通じた中小製造事業者の競争力強化を支援	人材育成に取り組む中小製造事業者の割合 90%（R12）	—	—
4-5	技能功労者表彰事業	市の産業の向上に寄与し、又は功績のあった技能者を静岡市技能功労者として表彰	表彰者数 26者/年	19者/年 （達成率 73%）	B
4-6	CSR活動表彰事業	事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実施する中小企業を表彰	表彰者数 4者/年	2者/年 （達成率 50%）	C
4-7	伝統工芸技術秀士顕彰・PR事業	本市の優れた伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰・PR	表彰者数 1者（R12）	0者/年（R5） 累計 0者 （進捗率 0%）	—
4-8	中小企業技術表彰事業	新規、又は独自性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を行う中小製造事業者を表彰	表彰者数 2者以上/年	3者/年 （達成率 150%）	A
4-9	多様な人材の活躍応援事業所表彰事業及び取組の見える化	女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取り組む事業所を表彰	表彰者数 5者/年	3者/年 （達成率 60%）	B
4-10	ダイバーシティ経営推進のための中小企業支援事業（ダイバーシティ経営推進講演会開催事業）	経営者・管理職を対象とした講演会等による多様な人材が活躍できる環境づくりの推進	参加者アンケートで「ダイバーシティ経営に取り組むきっかけとなった」と回答した割合 90%	100% （達成率 111.1%）	S

表 6 施策 4 達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

⑤施策5 地域産業を学び支える人づくり

施策5については、表7のとおり、達成指標を明確な数値で設定した10事業のうち、「S」が5項目、「A」が4項目、「B」が1項目となったことから、施策別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

	事業名称	事業概要	達成指標	R5 事業結果	事業評価
05 地域産業を学び支える人づくり					
5-1	★ ブラモデル化計画推進事業(ものづくりブラモデル大学)	「模型の世界首都」への誇り・愛着の醸成と共に、関係人口の開拓等に向けた取組の実施	受講者数 20人/年	33人/年 (達成率 165%)	S
5-2	★ ブラモデル化推進事業(ものづくりキャリア教育)	「模型の世界首都」への誇り・愛着の醸成と共に、関係人口の開拓等に向けた取組の実施	受講者数 800人/年	979人/年 (達成率 122.4%)	S
5-3	★ ブラモデル化推進事業(ブラモデル製作体験会)	小規模出展者のミスマッチを解消するため、静岡ホビーショーと連動した体験会の運営	体験者数 1,000人/年	1,253人/年 (達成率 125.3%)	S
5-4	★ ブラモデル化推進事業(模型青春フェスティバル開催事業)	ブラモデルの制作技術・関心の深化に向け、中高生を対象にしたフェスティバル開催	「模型の世界首都」への誇りを持ち、自律的にブラモデルを発信する市民の割合50%(R12)、40.7%(R5)	44.5% (達成率 109.3%)	S
5-5	こどもクリエイティブタウンでの職場体験等	ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次世代を担う人材を育成	年間利用者数 100,000人/年	75,746人/年 (達成率 75%)	B
5-6	地場産品体験学習事業	ものづくりと地場産品に対する興味を喚起し、地場産業のPRと将来の後継者育成を図る	体験学習申込学校数 延べ40校/年	36校/年(R5) (達成率 90%)	A
5-7	駿府匠宿運営事業	駿府匠宿の運営及び創作体験や展示を通じた工芸に親しみ歴史に触れる機会の提供	利用者満足度 95%/年	96.4%(R5)	A
5-8	生涯学習施設でのものづくり体験学習機会の提供	ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次世代を担う人材を育成	主に小学生を対象とした機会提供数 8施設・12講座(R12)	19施設・23講座 (達成率 237% 191.6%)	S
5-9	★ 地元就職・U/Iターン就職促進事業	市内で働く社会人との交流機会を提供し、若者の企業研究や就労意欲の促進を図る	①市内企業への就職関心度(大学生向):90% ②本事業が進路決定の参考になった割合(高校生向):90%	①市内企業への就職関心度:100%(達成率:105%) ②本事業が進路決定の参考になった割合:97%(達成率:100%)	A
5-10	★ 生涯現役地域づくり環境整備事業(高齢者就労促進事業)	シニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」の運営により活躍できる環境の整備	高齢者の雇用・就業数280人/年	592人/年 (達成率 211%)	A

表7 施策5 達成状況

★マークは重点的に取り組む事業

(2) 政策ごとの実施状況

政策ごとに評価をみると、「モノを創るコトづくり」に関しては3施策すべてが「○（期待通り）」となりました。昨今の新型コロナウイルス感染症など予測不能な事象や、ウクライナ情勢の緊迫による原油価格高騰など、生産コストが増加している現状をはじめ、顧客ニーズへの対応や同業他社との競争激化など、事業継続のみならず、さらなる競争力・販売力を高めていくことが求められます。製品や技術・サービスの付加価値を高めていくとともに、ものづくり産業の持続的な成長を遂げていくため、競争力・販売力の強化を推進していきます。

「モノを創るヒトづくり」に関しては、2施策のうち1施策が「△（期待を下回る）」、1施策が「◎（期待を大きく上回る）」となりました。「△（期待を下回る）」になった施策である「知識と技術をもち活かせる人づくり」は、熟練職人や従業員等の知識・技術の伝承・向上はもとより、多様な人材の活用・交流による人づくりを図るものです。本市の優れた伝統工芸の技術を継承するため、現状の事業スキームを改善し、技法の映像化によるアーカイブや、後継者の育成等の支援をしていきます。

政策	施策	登載 事業数	事業評価	該当事業数	「期待どおり」 (S+A)以上の 事業の割合	施策ごとの 評価
モノを創るコトづくり	1 持続的な発展に向けた経営力づくり	15 (評価対象13)	S	5	77%	○
			A	5		
			B	2		
			C	1		
	2 付加価値を高める生産力づくり	10 (評価対象6)	S	2	83%	○
			A	3		
			B	1		
			C	0		
	3 顧客から求められる販売・営業力づくり	15 (評価対象15)	S	6	73%	○
			A	5		
			B	2		
			C	2		
モノを創るヒトづくり	4 知識と技術をもち活かせる人づくり	10 (評価対象8)	S	1	50%	△
			A	3		
			B	2		
			C	2		
	5 地域産業を学び支える人づくり	10 (評価対象10)	S	5	90%	◎
			A	4		
			B	1		
			C	0		

表8 達成状況一覧

4 総括

目標である「持続的な成長を続ける ものづくり創造都市 静岡」の達成には、基本計画として定めた2つの政策の両方がバランス良く達成されている必要があります。今後も引き続き登載事業の進捗管理を図るため、登載事業ごとに達成指標を設定し、施策・政策の両面で評価を実施していきます。

また、進捗管理においては、社会情勢の変化や事業者のニーズ等に応じた機動的かつ柔軟な改善を実施するため、毎年度実施状況を調査・確認するとともに、事業計画の見直しを図り、適切な支援が行えるよう取り組んでいきます。